

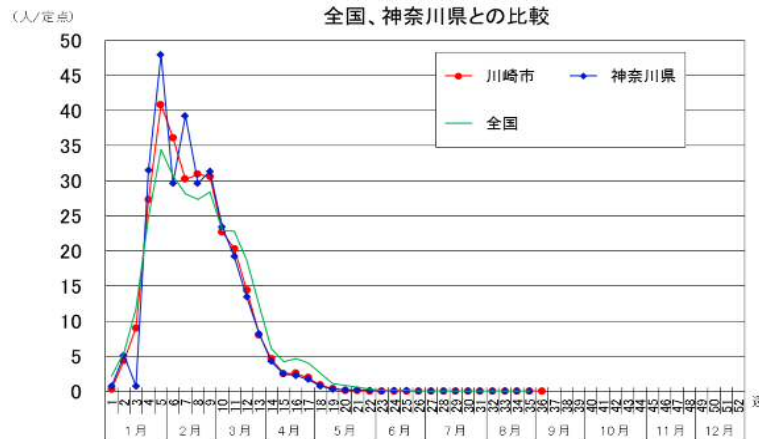
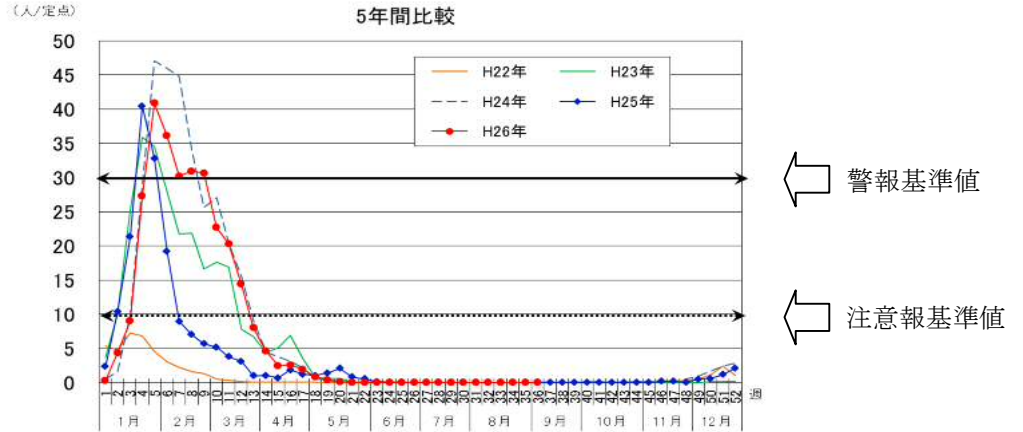
疾患別発生状況解析（平成26年5月～平成26年8月）

<インフルエンザ定点対象疾患>

インフルエンザ（警報基準値：定点当たり 30 人、注意報基準値：定点当たり 10 人）

【川崎市】

今期は5月77件、6月2件、7月1件、8月0件、計80件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると5月68%、6月14%、7月10%、8月0%と、特に流行は認められませんでした。

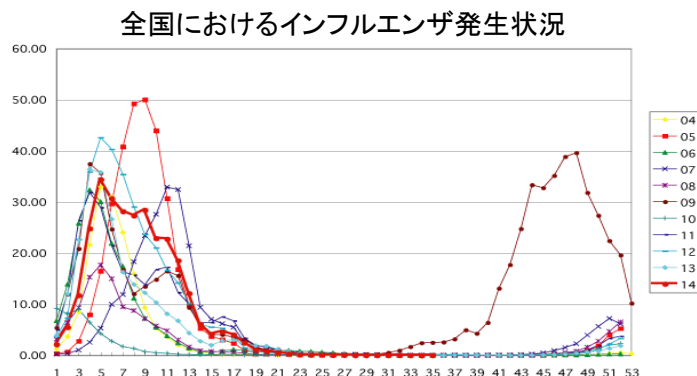


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	患者性別	患者年齢
H26.6.16	宮前区	A 香港 (H3N2)	男	39
H26.6.20	川崎区	陰性	男	12
H26.6.20	川崎区	陰性	男	12

【全国及びその他】

全国的にも特に流行は認められませんでした。



<小児科定点対象疾患>

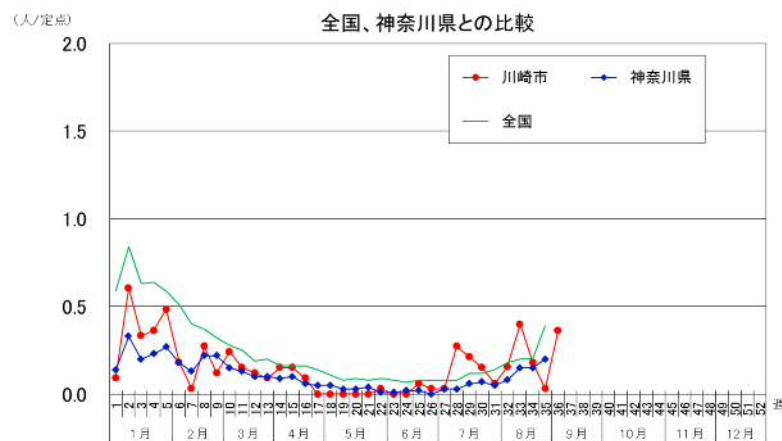
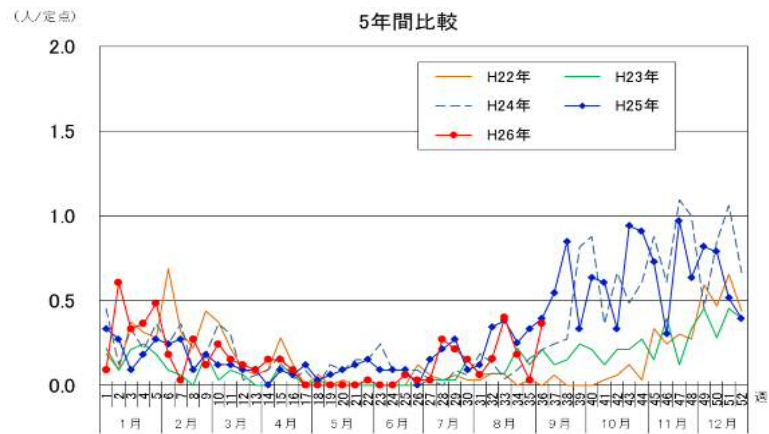
RSウイルス感染症

【川崎市】

今期は5月1件、6月3件、7月24件、8月20件、計48件の報告がありました。

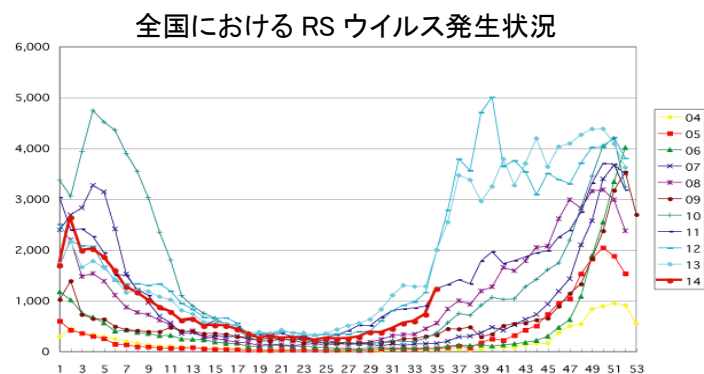
過去5年平均の報告数と比較すると5月14%、6月50%、7月200%、8月105%と、7月に例年より高いレベルで推移しました。

また、年齢別では約69%が1歳以下でした。



【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。



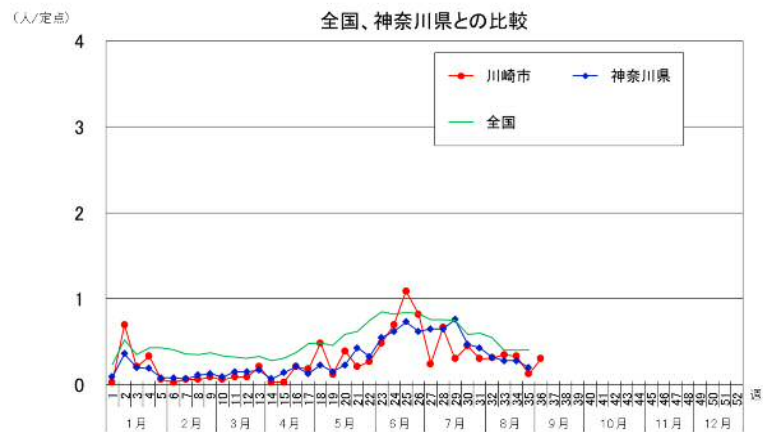
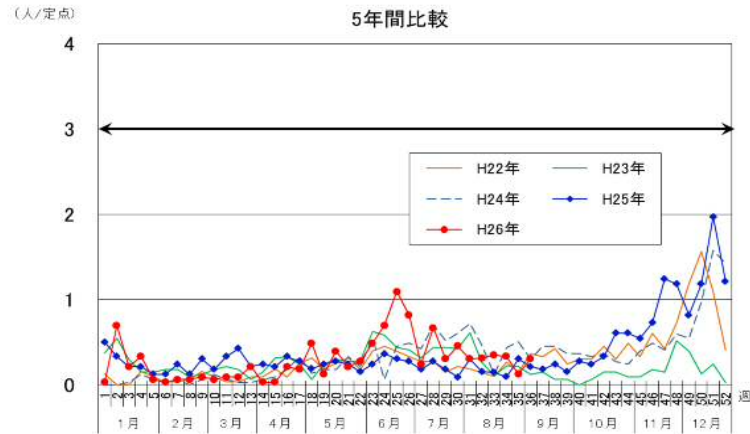
咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は5月49件、6月102件、7月65件、8月32件、計248件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると5月155%、6月182%、7月130%、8月95%と、例年より高いレベルで推移しました。

近年では、従来流行のあった夏期に患者数が増加せず、冬期に患者数が増加する傾向が続いていましたが、今年は夏期に定点当たり1人を超えました。なお、夏期に定点当たり1人を超えたのは平成20年度から6年ぶりです。

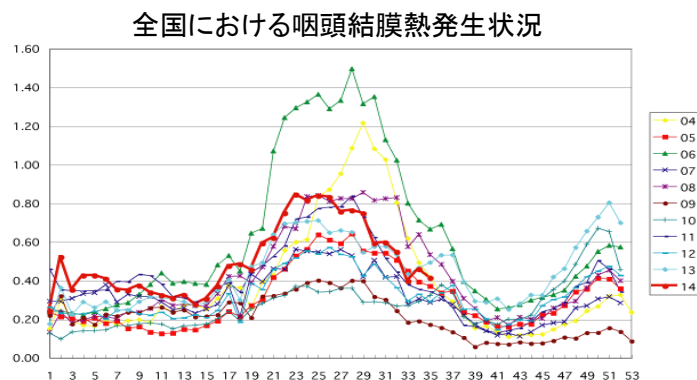
今期、流行発生警報基準値(3)を超えた週は、幸区で第25週(4.00)、第28週(3.00)でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



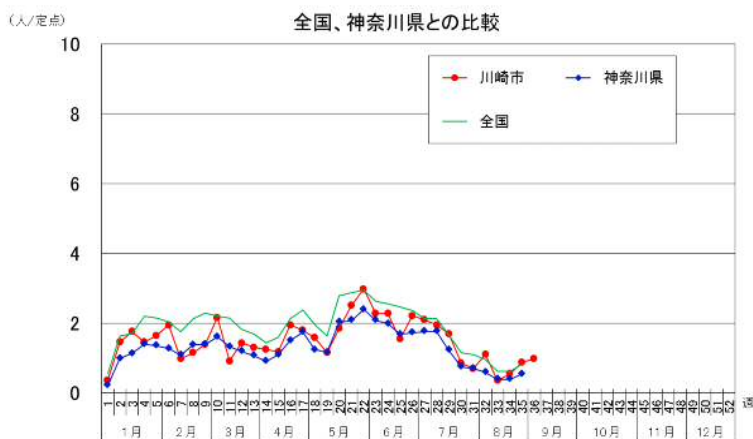
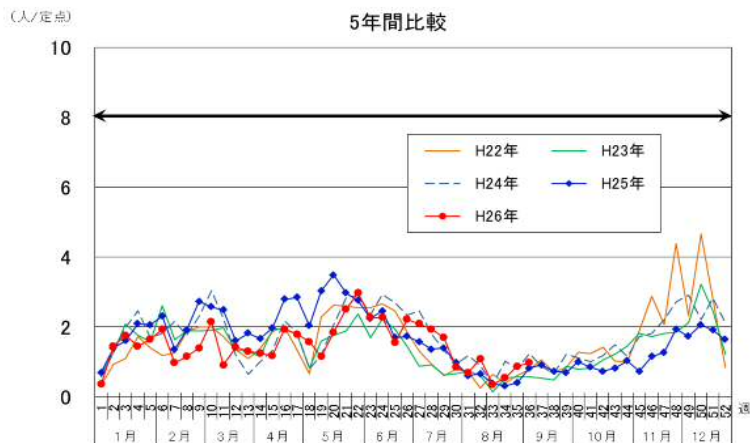
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は5月332件、6月274件、7月240件、8月88件、計934件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると5月107%、6月86%、7月124%、8月114%と、ほぼ例年並みのレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(8)を超えた週はありませんでした。

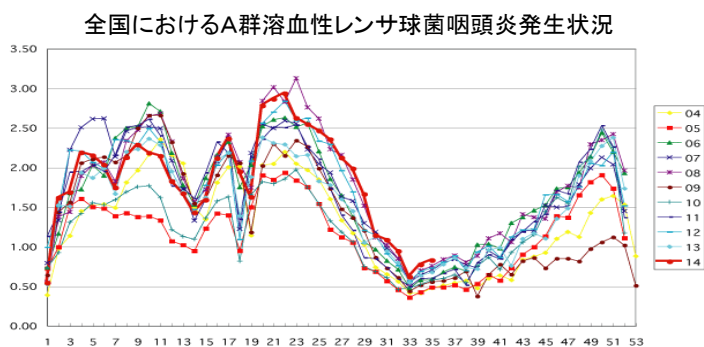


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	T型別	患者性別	患者年齢
H26.6.12	多摩区	溶血レンサ球菌 A 群	1	男	4
H26.7.15	多摩区	溶血レンサ球菌 A 群	4	男	5
H26.8.19	多摩区	溶血レンサ球菌 A 群	12	男	4

【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。



感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

【川崎市】

今期は5月 1,336 件、6月 951 件、7月 862 件、8月 580 件、計 3,729 件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると5月 121%、6月 94%、7月 128%、8月 127%と、5月、7月、8月に例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(20)を超えた週はありませんでした。



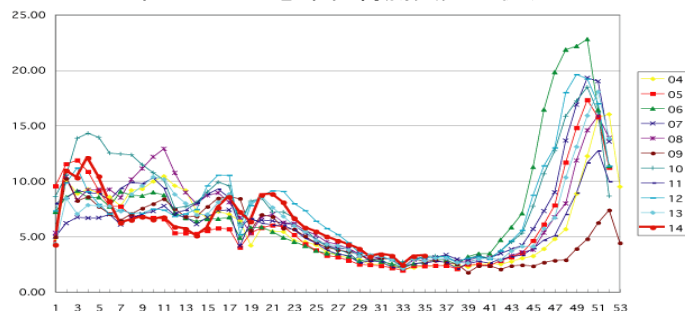
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果(ウイルス)	血清型	検査結果(細菌)	患者性別	患者年齢
H26.6.3	多摩区	陰性		陰性	女	0
H26.6.10	宮前区	ノロウイルス	G1,G2	陰性	女	3
H26.8.5	多摩区	陰性		陰性	女	0
H26.8.8	多摩区	アデノウイルス	41 型	陰性	女	0
		コクサッキーウイルス	A2			

【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。

全国における感染性胃腸炎発生状況



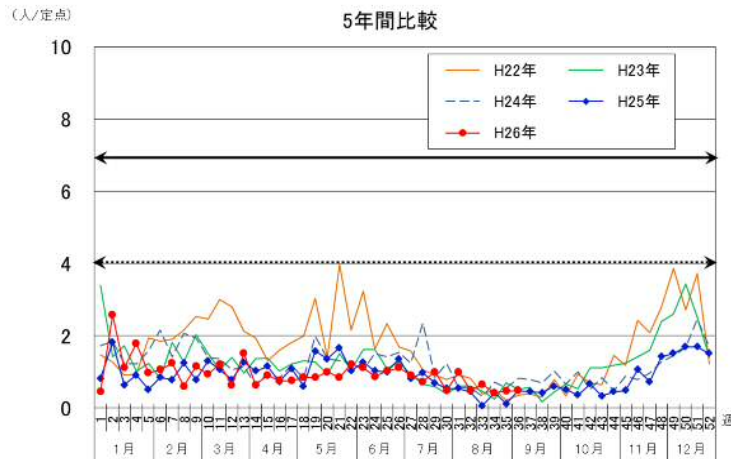
水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

【川崎市】

今期は5月157件、6月137件、7月136件、8月58件、計488件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると5月67%、6月64%、7月98%、8月88%と、例年より低いレベルで推移しました。

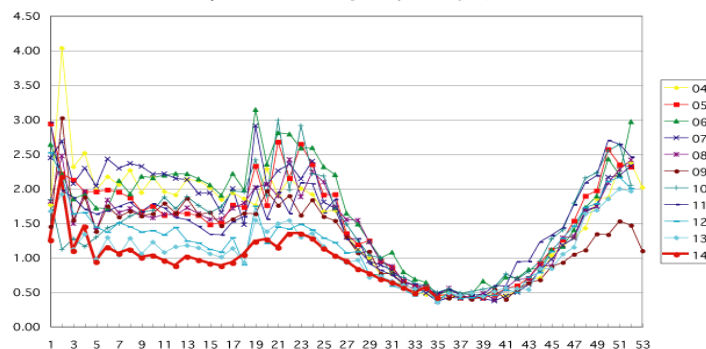
今期、流行発生注意報基準値(4)を超えた週はありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

全国における水痘発生状況



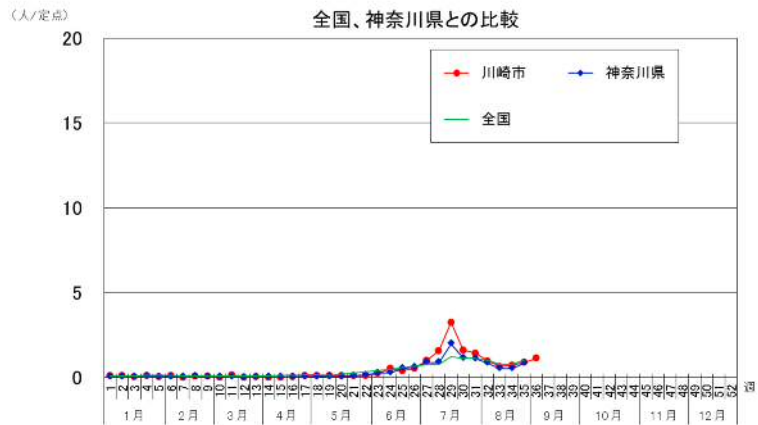
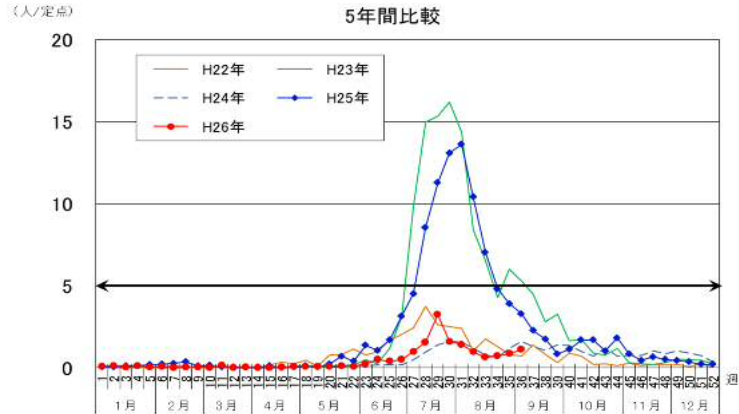
手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

【川崎市】

今期は5月16件、6月55件、7月292件、8月96件、計459件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると5月48%、6月41%、7月35%、8月17%と、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(5)を超えた週はありませんでした。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	検査結果(亜型)	患者性別	患者年齢
H26.5.21	宮前区	ヘルペスウイルス	7	男	36
		エンテロウイルス	71		
H26.6.6	多摩区	アデノウイルス	2	男	1
		ヘルペスウイルス	6		
H26.6.16	多摩区	エンテロウイルス	71	男	2
H26.6.26	多摩区	陰性		女	0
H26.7.8	多摩区	コクサッキーウイルス	A16	男	2
H26.7.8	多摩区	コクサッキーウイルス	A6	女	5
H26.7.17	高津区	エンテロウイルス	71	男	4
H26.7.31	高津区	コクサッキーウイルス	A5	男	1

【全国及びその他】

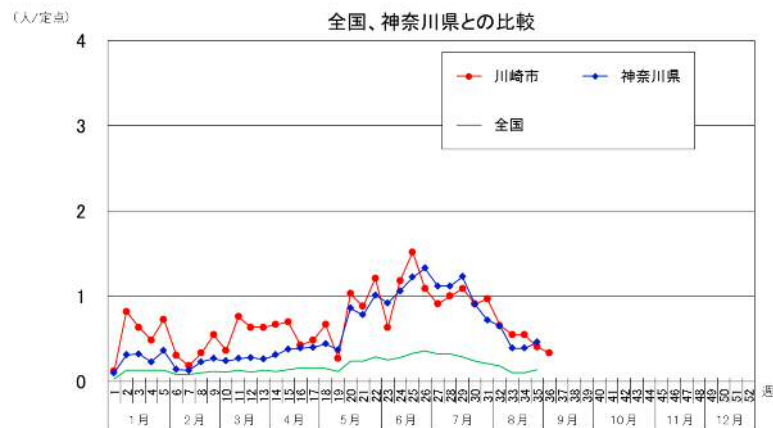
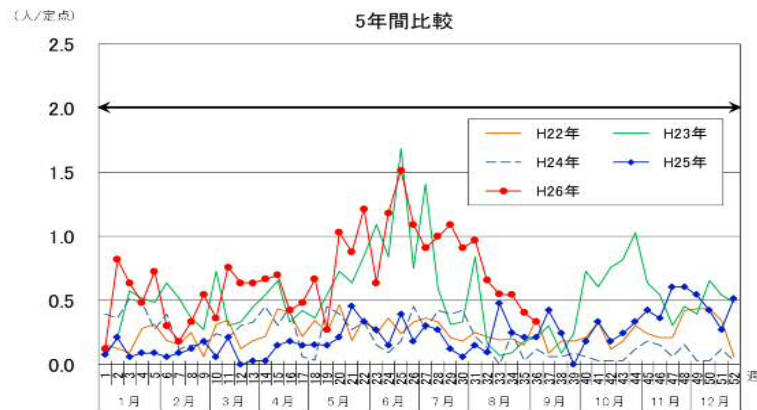
全国的にも特に流行は認められませんでした。

伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

【川崎市】

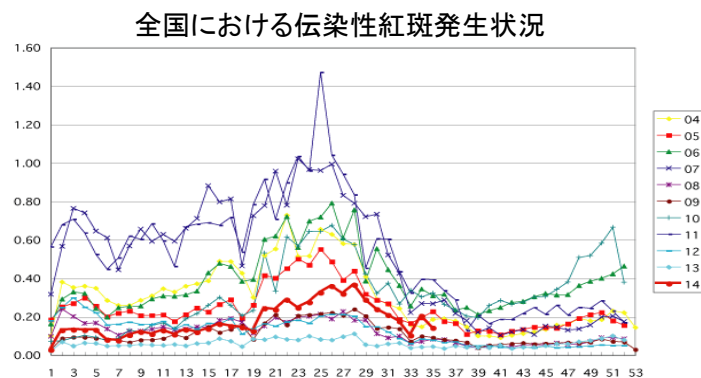
今期は5月134件、6月146件、7月161件、8月63件、計504件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると5月168%、6月143%、7月180%、8月158%と、例年よりかなり高いレベルで推移しました。平成24年及び平成25年は、例年よりかなり低いレベルで推移していましたが、今年は年明け以降高いレベルで推移し、第25週に定点当たり1.52人と今シーズンのピークを形成しました。

今期、流行発生警報基準値(2)を超えた週は、宮前区で第20週(2.00)、第21週(2.60)、第22週(4.40)、第24週(3.40)、第25週(3.20)、第26週(3.40)、第28週(2.40)、第29週(2.20)、麻生区で第25週(2.50)、第31週(2.00)でした。



【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

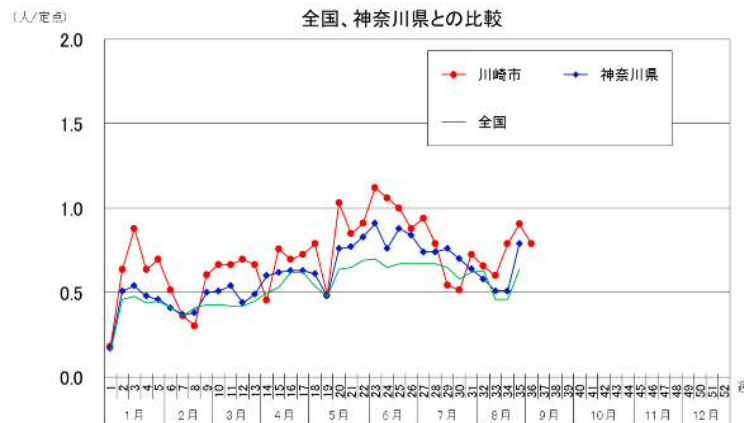
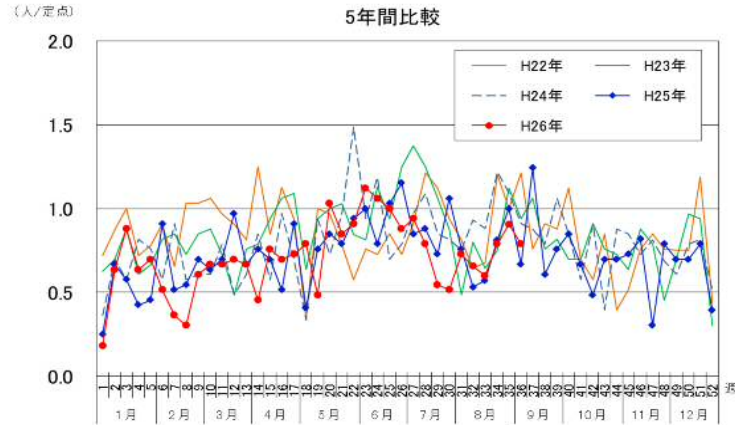


突発性発しん

【川崎市】

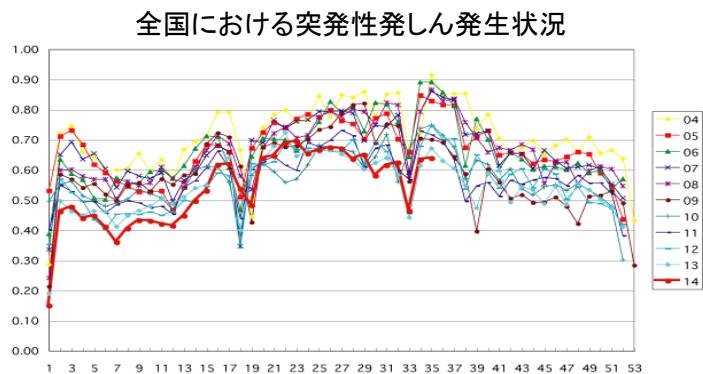
今期は5月134件、6月134件、7月116件、8月88件、計472件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると5月102%、6月105%、7月75%、8月79%と、7月及び8月は例年より低いレベルで推移しました。

また、例年と同様に、年齢別では1歳以下が約86%を占めていました。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

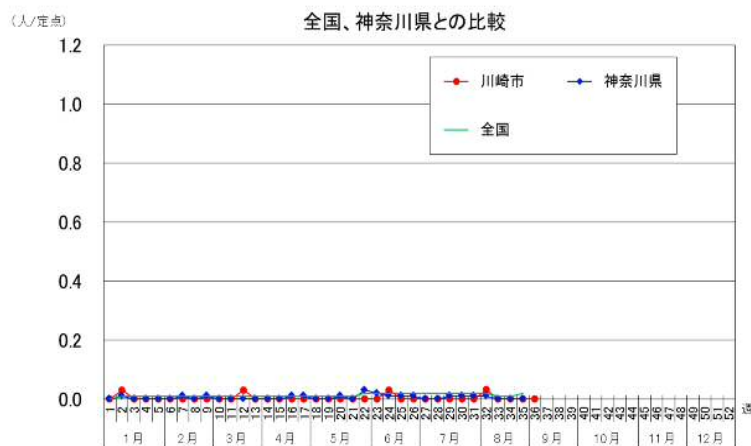
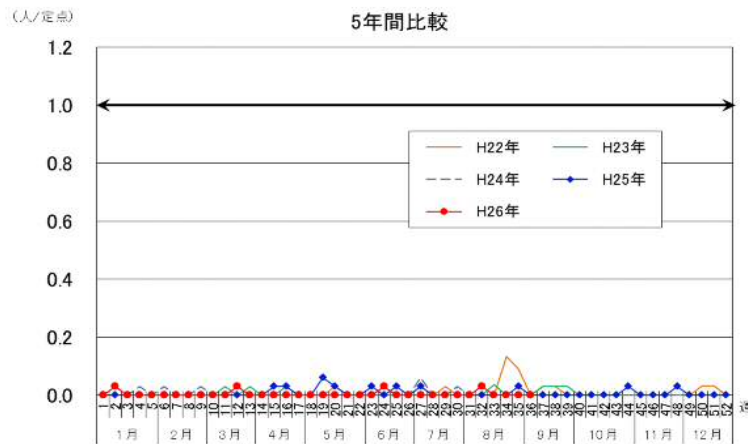


百日咳(警報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は5月0件、6月1件(1歳)、7月0件、8月1件(20歳以上)、計2件の報告がありました。過去5年平均の報告数は計4.6件であり、例年より低いレベルで推移しました。

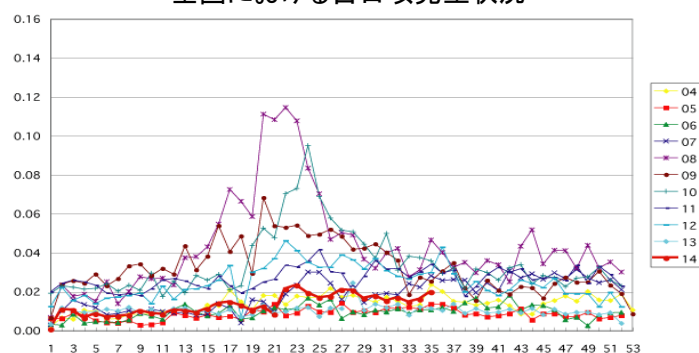
病原体定点からの検体の提供はありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

全国における百日咳発生状況

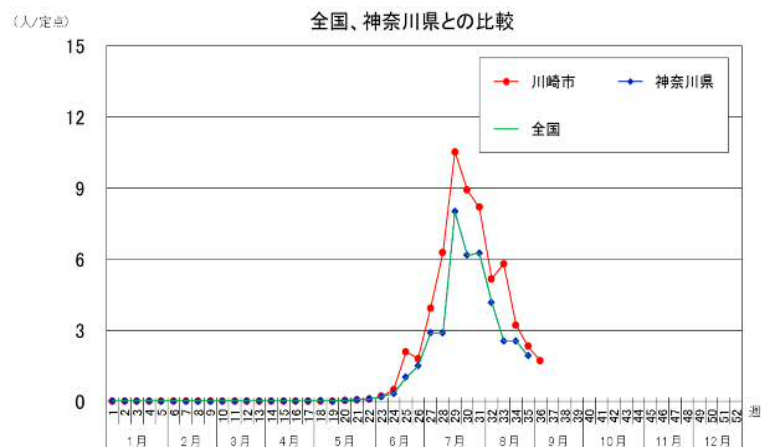
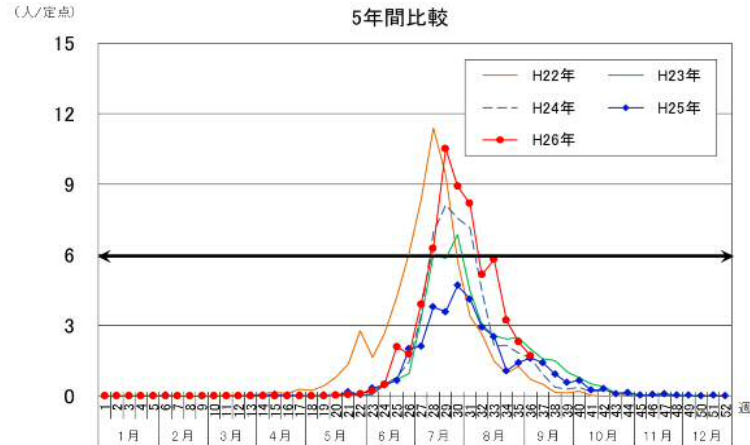


ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

【川崎市】

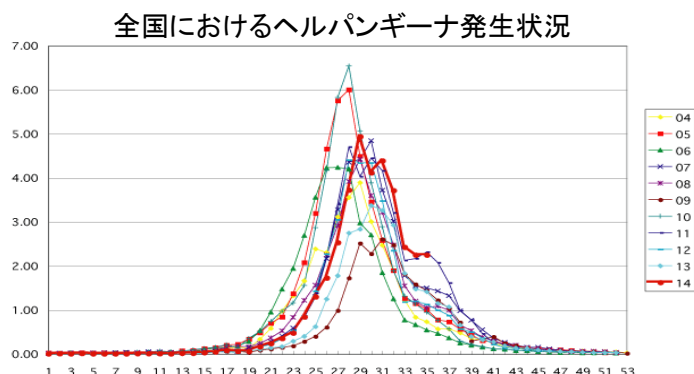
今期は5月6件、6月151件、7月1,247件、8月461件、計1,865件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると5月26%、6月109%、7月167%、8月128%と、7月は例年よりかなり高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(2)を超えた週は、第28週(6.27)、第29週(10.52)、第30週(8.91)、第31週(8.18)でした。



【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。



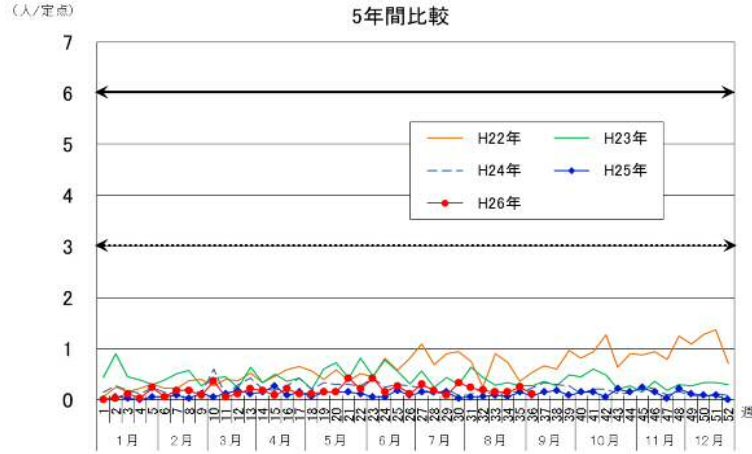
流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は5月35件、6月32件、7月38件、8月22件、計127件の報告がありました。

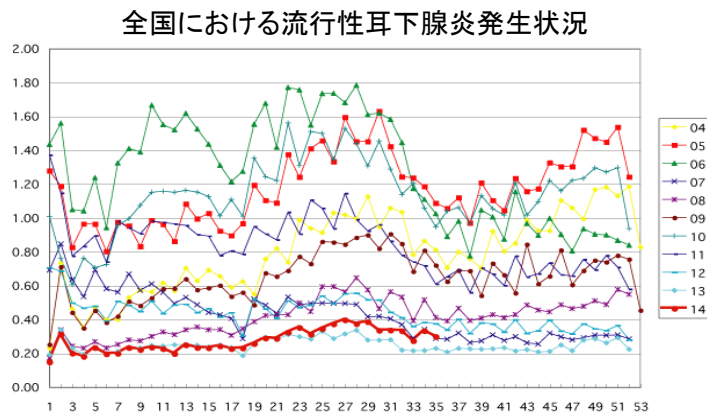
過去5年平均の報告数と比較すると5月69%、6月49%、7月49%、8月41%と、例年よりかなり低いレベルで推移し、特に流行は認められませんでした。

今期、流行発生注意報基準値(3)を超えた週はありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

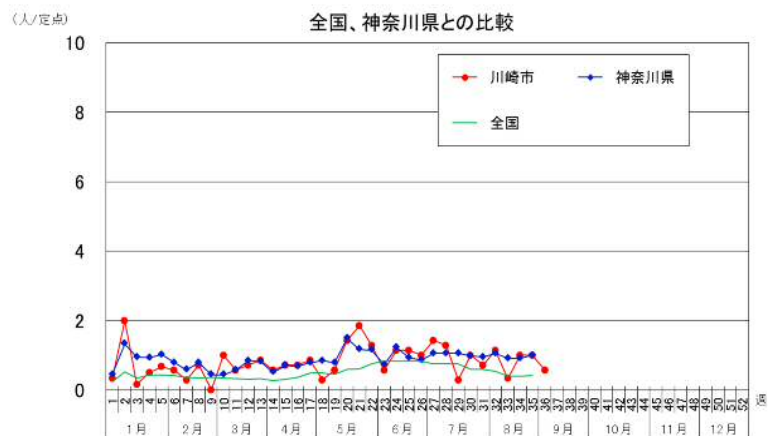
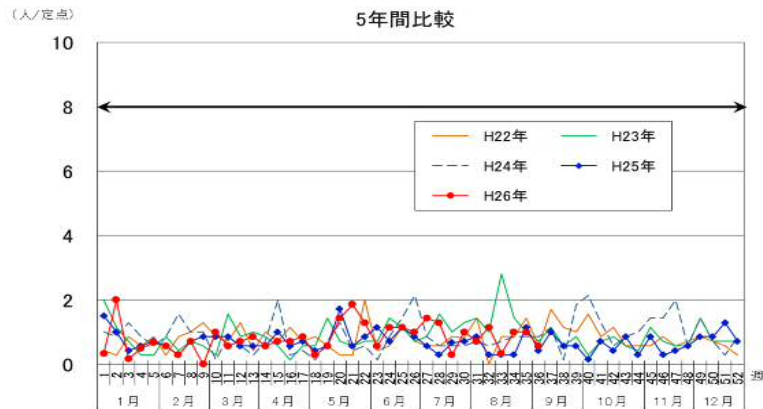


流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は5月38件、6月27件、7月32件、8月24件、計121件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると5月196%、6月94%、7月133%、8月97%と、5月に例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(8)を超えた週は、川崎区で第21週(10.00)でした。



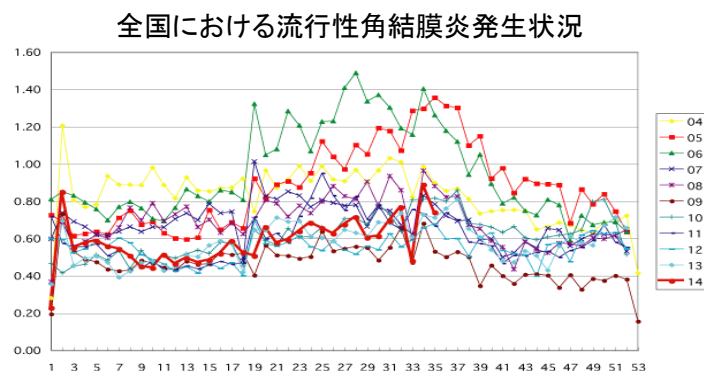
病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	検査結果(亜型)	患者性別	患者年齢
H26.5.16	川崎	アデノウイルス	4	女	44
H26.5.26	川崎	アデノウイルス	4	男	20

※その他 17 検体は陰性でした。

【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

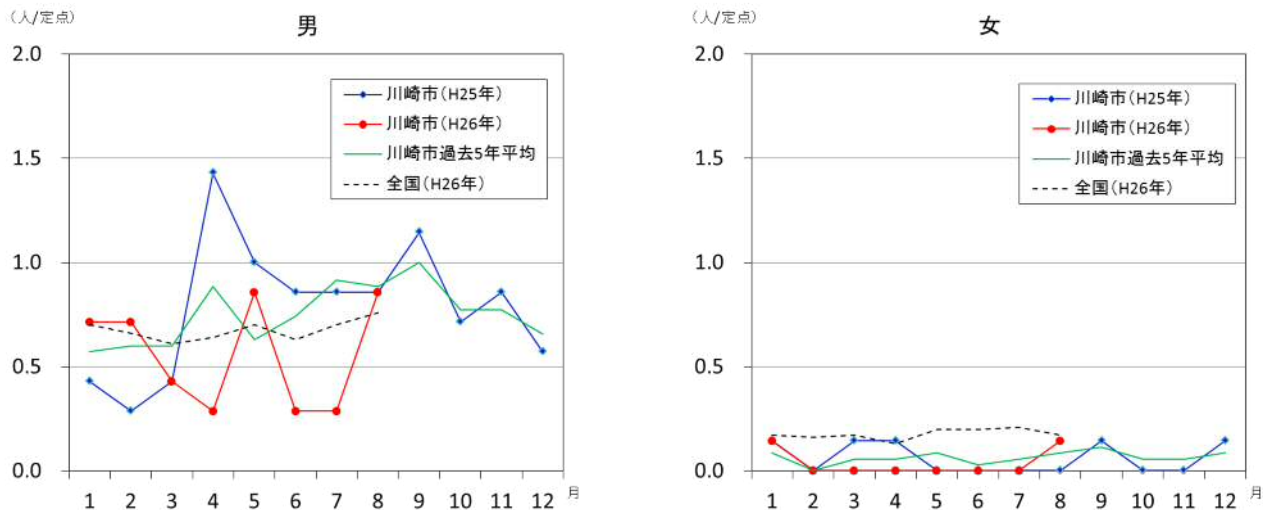


淋菌感染症

【川崎市】

今期は5月6件、6月2件、7月2件、8月7件、計17件の報告がありました。
過去5年平均の報告数は17.2件であり、例年より低いレベルで推移しました。

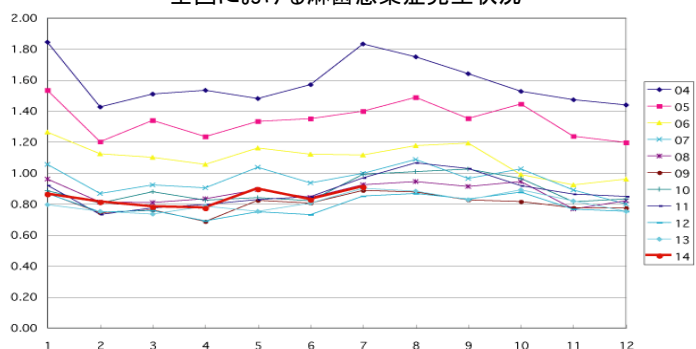
淋菌感染症発生状況



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

全国における淋菌感染症発生状況



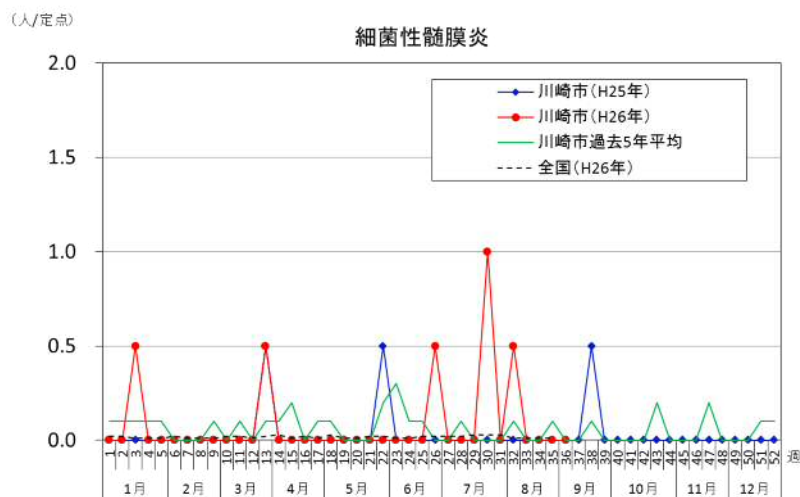
<基幹定点対象疾患（週報）>

細菌性髄膜炎

【川崎市】

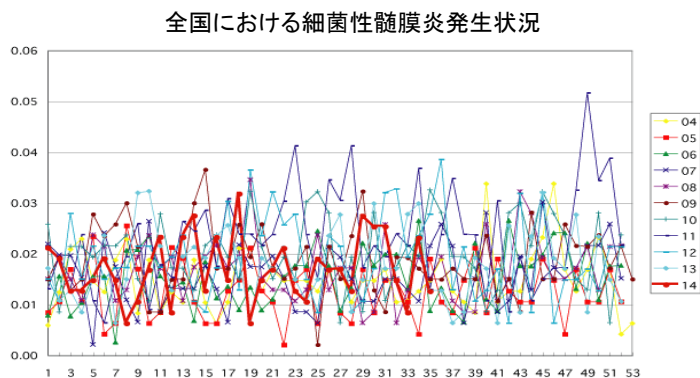
今期は5月0件、6月1件、7月2件、8月1件、計4件の報告がありました。過去5年平均の報告数は1.8件であり、例年より高いレベルで推移しました。

- 1 Other Bacteria (男性 34歳)
- 2 *Enterobacter* sp. (女性 43歳)
- 3 陰性 (女性 80歳)
- 4 *Acinetobacter* sp. (男性 46歳)



【全国及びその他】

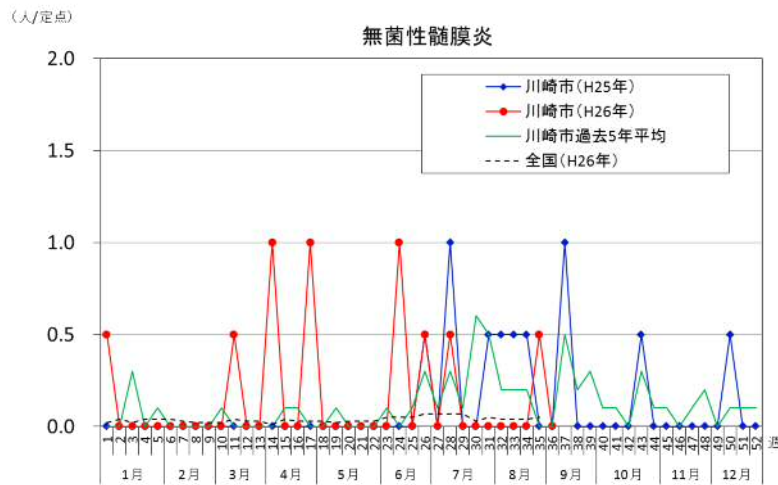
全国的にはほぼ例年並みのレベルで推移しました。



無菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は5月0件、6月3件、7月1件、8月1件、計5件の報告がありました。過去5年平均の報告数は5.6件であり、ほぼ例年並みのレベルで推移しました。

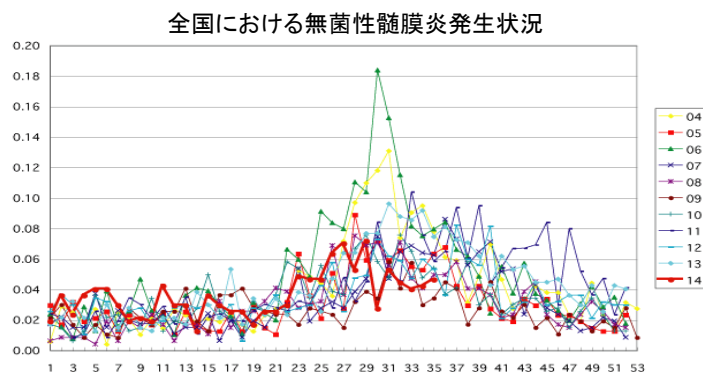


病原体定点からの病原体検出状況（疑い事例※を含む）は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	検査結果(亜型)	患者性別	患者年齢
H26.5.26	川崎	ヘルペスウイルス※	7	男	20
H26.6.25	川崎	陰性		男	15
H26.7.7	川崎	陰性		女	26
H26.7.29	川崎	陰性※		男	0

【全国及びその他】

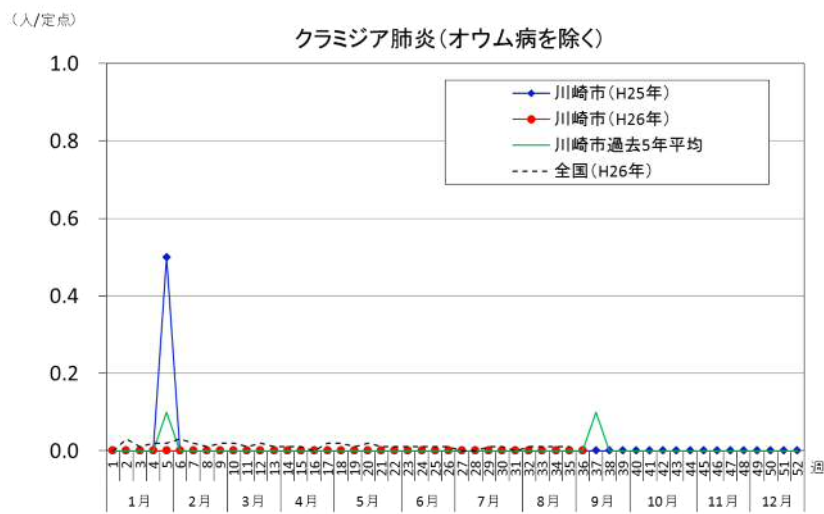
全国的にもほぼ例年並みのレベルで推移しました。



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

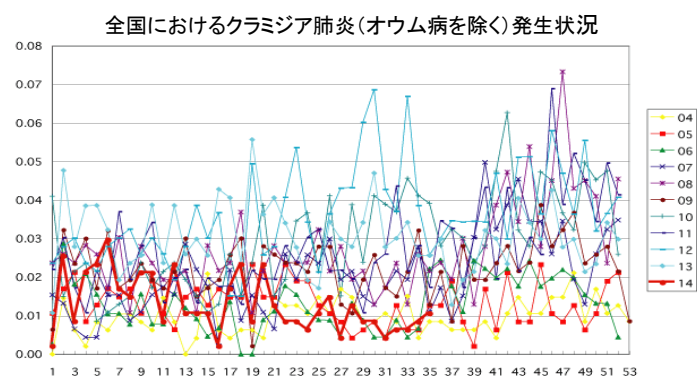
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

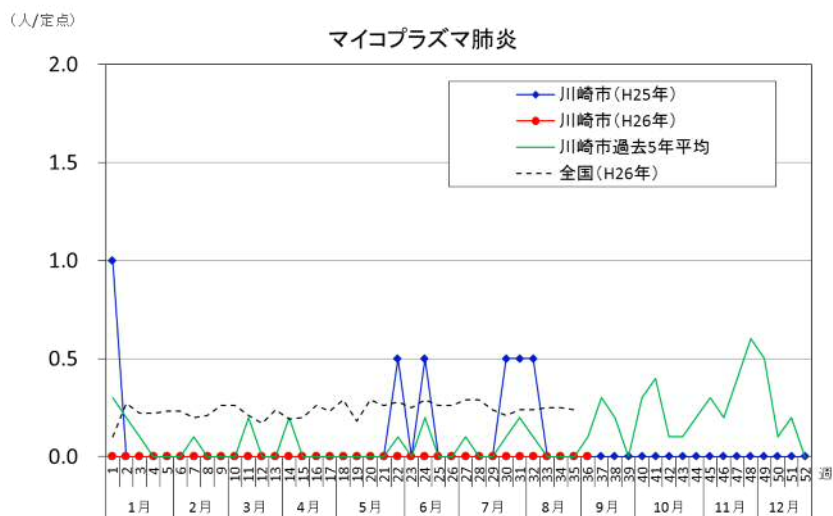
全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。



マイコプラズマ肺炎

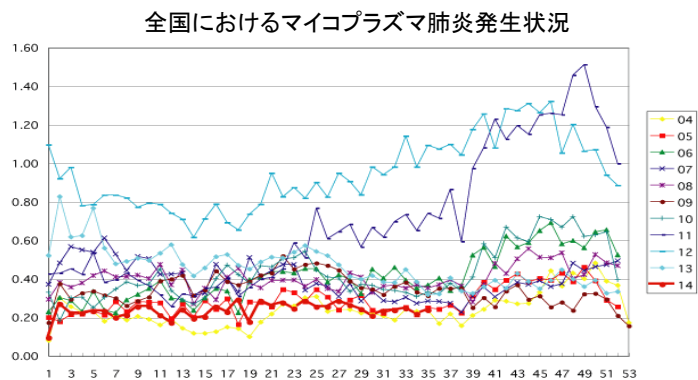
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

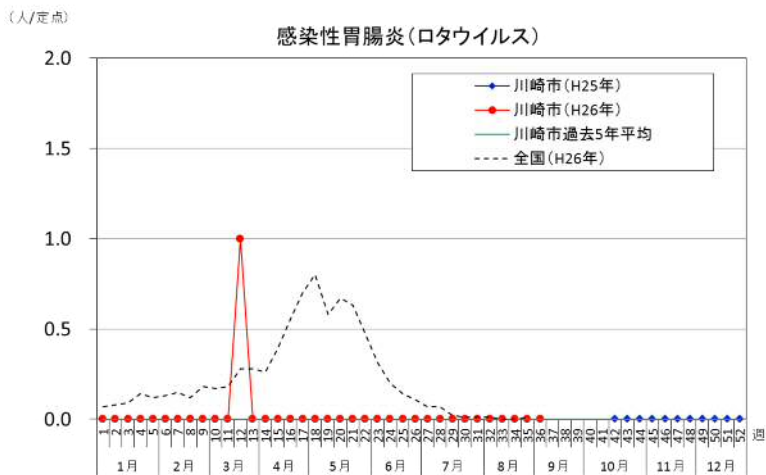
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

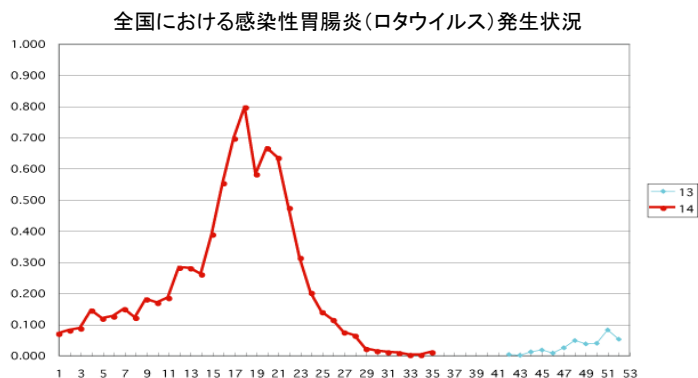
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的には4~6月頃にかけて高いレベルで推移しました。



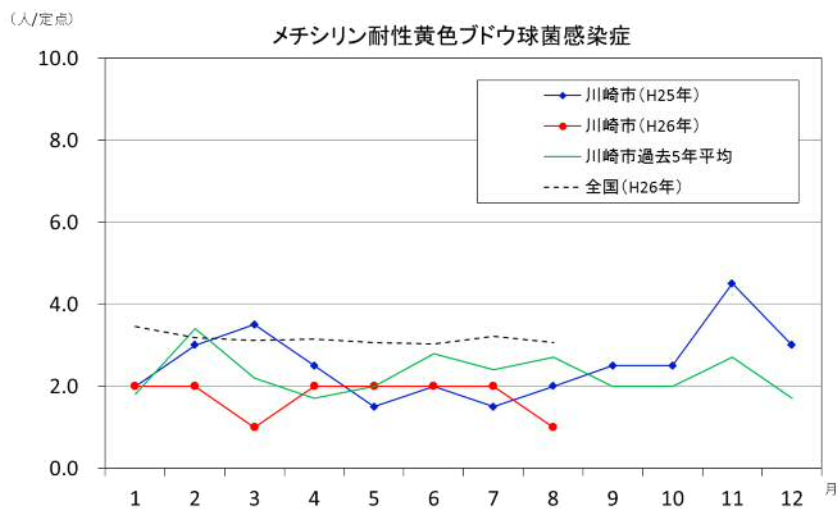
<基幹定点対象疾患（月報）>

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

【川崎市】

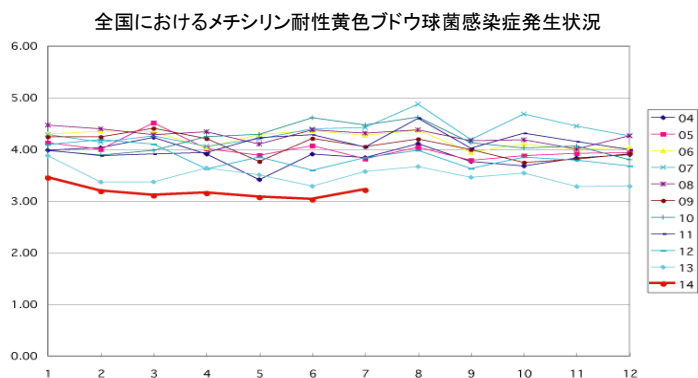
今期は5月4件、6月4件、7月4件、8月2件、計14件の報告がありました。

過去5年平均の報告数は14.4件であり、例年よりやや低いレベルで推移しました。



【全国及びその他】

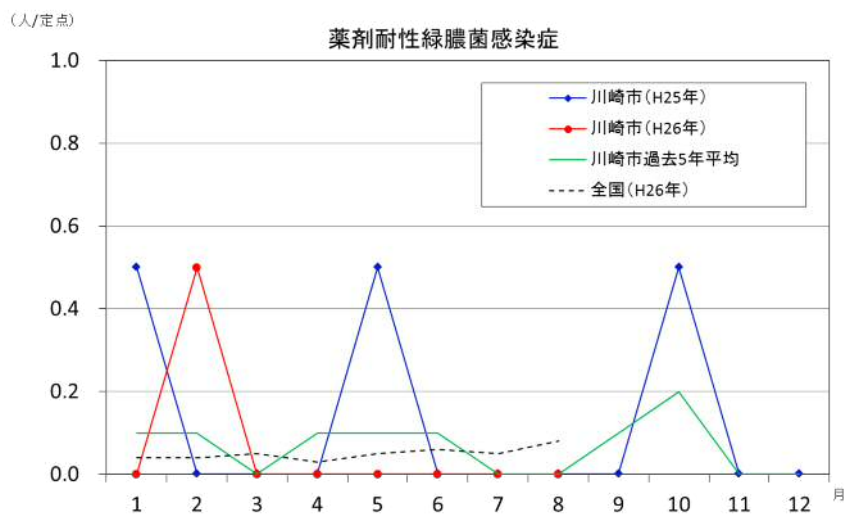
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



薬剤耐性緑膿菌感染症

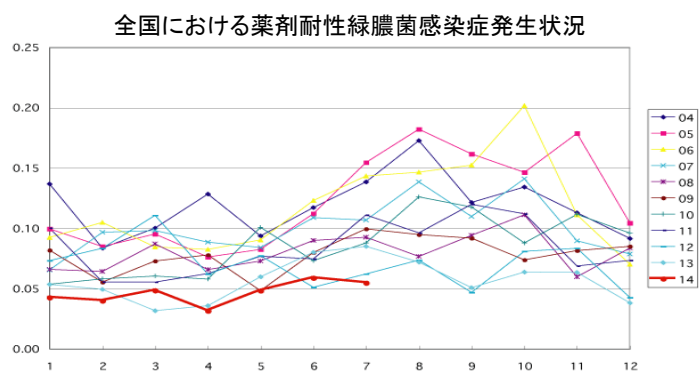
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

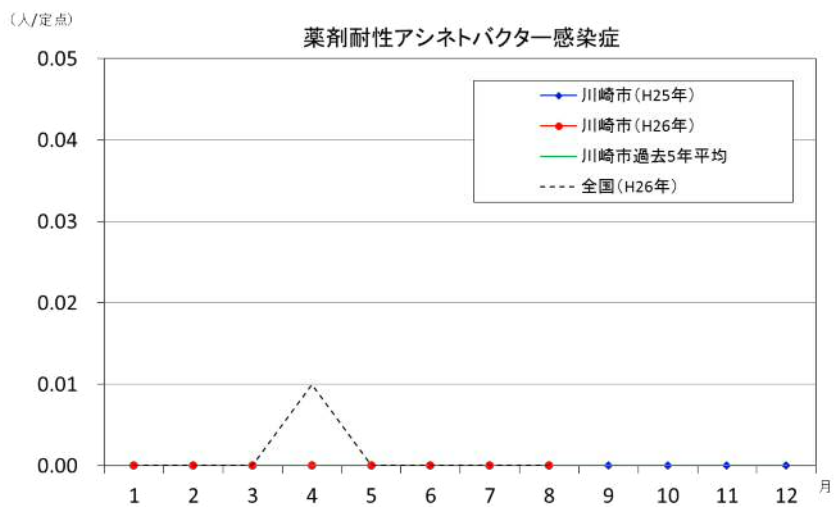
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



薬剤耐性アシネトバクター感染症

【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にはほぼ例年並みのレベルで推移しました。

